

令和4年度

オホーツク社会福祉専門学校

学校関係者評価委員会

司会進行	畠山 友子
記 録	田村 智美
日 時	令和5年2月16日(木) 18:30～
場 所	オホーツク社会福祉専門学校 5階 図書室

＝会議次第＝

- 1 学校関係者評価委員会 開会
- 2 学校法人栗原学園 学園長 兼 オホーツク社会福祉専門学校 学校長 挨拶
- 3 委員紹介 ・ 職員挨拶
- 4 議題 1) 学校関係者評価の概要と実施状況について
議題 2) 自己点検評価結果について
今後改善すべき点・課題となる点等
議題 3) 各項目における意見聴取
議題 4) その他
- 5 閉会

学校関係者評価委員会 資料

学校法人栗原学園
オホーツク社会福祉専門学校

令和4年度
(2022年度)

目 次

1. 学校関係者評価の概要と実施状況

- (1) 学校関係者評価の目的
- (2) 学校関係者評価委員会出席者
- (3) 学校関係者評価委員会実施日時
- (4) 学校関係者評価方法

2. 評価内容 *別紙 (学校関係者評価報告書)

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献等

3. 学校関係者評価委員会コメント・質疑

4. 栗原学園学校関係評価委員会 規則

1. 学校関係者評価の概要と実施状況

(1) 学校関係者評価の目的

- ・卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、オホーツク社会福祉専門学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ・学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

(2) 学校関係者評価委員会出席者（敬省略）

氏名	部署・役職
松浦 信一	医療法人社団松浦歯科医院理事長
中野 武房	学校カウンセリング研究会会長
岡田 直美	認定こども園北見くるみ幼稚園園長
高橋 正明	社会福祉法人恵和福社会介護老人保健施設緑風顧問
近藤 千鶴	株式会社ベストミント代表取締役

学校職員	校長	棧 邦雄
	介護福祉科学科長	畠山 友子
	こども未来学科学科長	田中 由佳
	歯科衛生士科学科長	田村 智美

(3) 学校関係者評価委員会実施日時

日時：令和5年2月16日 18:30～

場所：オホーツク社会福祉専門学校 5階 図書室

(4) 学校関係者評価方法

自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、

下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

※参考 自己点検・評価における達成度の評定

5：適切

4：ほぼ適切

3：やや適切

2：不適切

1：わからない

※対象職員 … 介護福祉科 4名
こども未来学科 4名
歯科衛生士科 4名

合計 12名

栗原学園学校関係評価委員会 規則

(設置)

第1条 学校法人栗原学園(北見情報ビジネス専門学校・オホーツク社会福祉専門学校)において、学校関係評価委員会(以下「委員会」という。)を置く。但し学科の特殊性等を勘案し、編成委員については、栗原学園協力会会員に限らないものとする。

(任務)

第2条 委員会は、委員長の統括のもとに、栗原学園の諸活動の観察等を通じて、学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた、今後の改善方策等について評価することを基本とする。

- (1) 自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高めること、
- (2) 専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 校長及び学科長
- (2) 生徒・卒業生、関係業界、専修学校団体・職能団体・専門分野別の関係団体など、専修学校と密接に関係する者

(委員長)

第4条 委員会の委員長は、校長または各学科長

(招集及び議長)

第5条 委員長は委員会を招集し、その議長となる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、各学校において処理する。

(補則)

第7条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の定めるところによる。

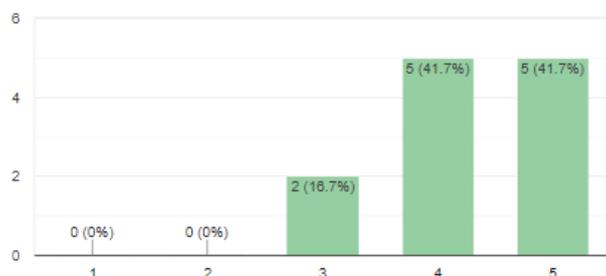
附 則

- 1 この規則は、平成25年11月25日から施行する。
- 2 この規約は、平成30年6月1日より改定施行する。

令和4年度 栗原学園 学校評価

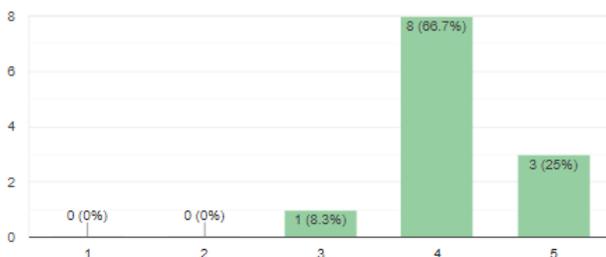
I 教育理念・目標

理念・目標・育成人材は定められているか



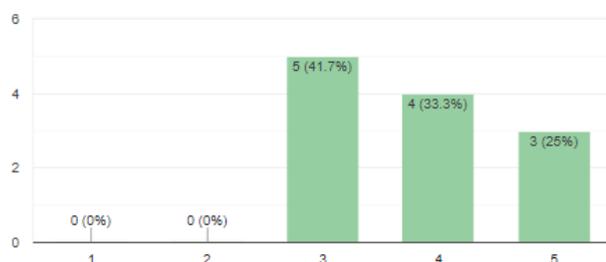
5	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・目標は常に掲げている ・学園研修会で周知されている
4	<ul style="list-style-type: none"> ・学園の理念等を全体で共有し、実践を心掛けている。 ・職員研修等の際に、毎回提示されている ・専門知識・技術・態度の向上につながるものとなっている。
3	育成人材については、定めはあるが確保するのが困難である

社会のニーズ等を踏まえた学園の構想を抱いているか



5	・来年度より外国人留学生の受け入れを予定しており現在準備を進めている
4	<ul style="list-style-type: none"> ・常に社会情勢を把握して構想を立てている ・社会のニーズを自身もしっかりと理解をすることで学園として社会のニーズに応じていくことができると思うので、社会や地域の理解を深めていきたいです。 ・医療や介護等について新たな局面を迎えてきていると思います。 ・社会へ通じる人材育成を目指した取り組みとしては未だ現在進行形となっているのでないかと感じる。
3	

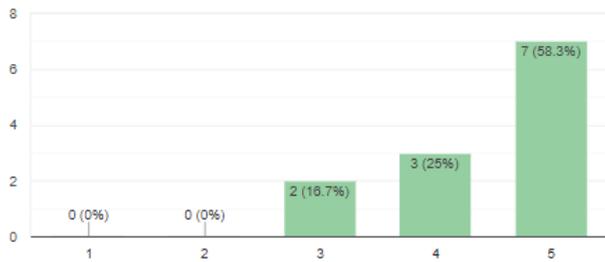
理念・目標・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか



5	・入学式後の保護者会やHR等でも周知している。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・説明の機会は設けられているが、それでも保護者との認識にズレが生じている場面は見られるように思う。 ・これからは紙だけではなく、ネット等の利用も重視する時代になっていると思います。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・より一層の周知が必要 ・あらゆる手段で周知に力を注いでいる ・様々な場面で発信はしているが、認知されているかとなれば十分とは言えないのではないか。 ・学校側の周知努力と受け取る側の認知が同等ではないように感じる。

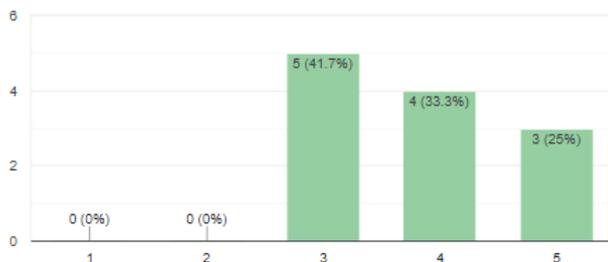
II 学校運営

目標等に沿った運営方針が策定されているか



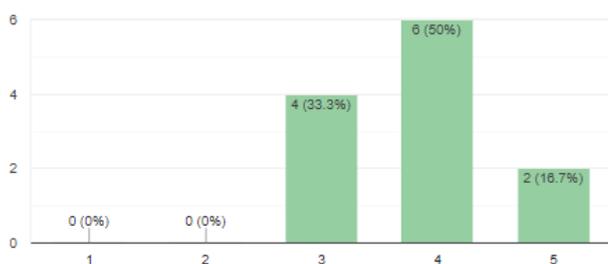
5	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値を掲げそれに沿って運営されている ・常に目的に合わせたものを行っていると思う。 ・教職員研修会にて、理事長・学園長・各校長より提示がある ・職員研修会等で提示されている ・策定はされているが足並みが不足している。
4	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値を掲げそれに沿って運営されている 策定はされているが足並みが不足している。

運営組織は明確にされ、有効に機能しているか



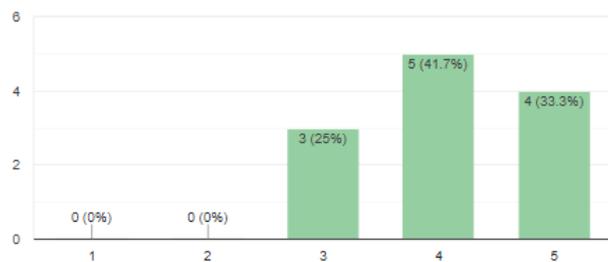
5	<ul style="list-style-type: none"> ・組織図に基づき業務を分担、その上で報告・連絡・相談体制が整えられている。人事の移動も多いためか、不明確で困惑した事も幾度かあった。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・明確だが連携がスムーズに行かない時もあると思います。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体での明確化がより一層必要明確化されているが、機能は十分とはいえない ・有効に機能している部分とそうでない部分の差が大きい。

情報システム等による業務の効率化が図られているか



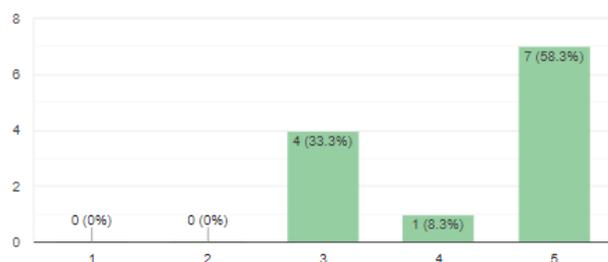
5	<ul style="list-style-type: none"> ・スラックを導入し、円滑に情報共有を行えている
4	<ul style="list-style-type: none"> ・その知識に長けた職員に偏りがないよう配慮が必要 ・スラックが有効に使用されていると感じます。 ・スラック等の利用はいいと思いますが、システムの勉強会等があればいいと思います。 ・昨年度と同様に HP の見直しが必要だが、SNS やインスタグラムの利用を積極的にしている また、来年度は LINE 公式アカウントを作成予定である ・以前はメールのみでのやり取りであったが、Slack を導入し効率化を図っているため。 ・スラックなどの普及によりタイムリーに情報共有が出来ようになった。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・全てにおいてはまだ不十分であり稼働されていない ・必要に迫られたものから少しずつ取り入れは行われているが、新しい試みを取り入れる事に要する研鑽時間が不足しており、業務効率化といえるラインには達しきれていない。

学園内総合力を高めるための連携と協働体制の確立が図られているか



5	<ul style="list-style-type: none"> ・学園全体での連携がとれており、手厚い学生対応へと繋がっている
4	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修等にて理事長より周知がある ・他学科との連携がとられていると感じます。 ・昨年度はコロナ禍で難しかったと思いますが、本年度は高めていく体制を作っていけると感じます。 ・取り組んではいるが十分とはいえない。 ・物事により確立に差があると感じる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ各校の連携を図って進めている

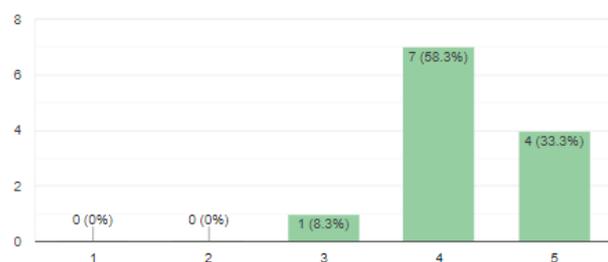
教育活動に関する情報公開が適切になされているか



5	<ul style="list-style-type: none"> ・適切だと思います。 ・HP にシラバスやカリキュラム等掲載し情報公開を行っている ・SNS 等を活用し発信している。 ・教育課程編成委員会の開催や HP 上での掲示のをしている。
4	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・より一層の周知が必要 ・ホームページ等で開示している

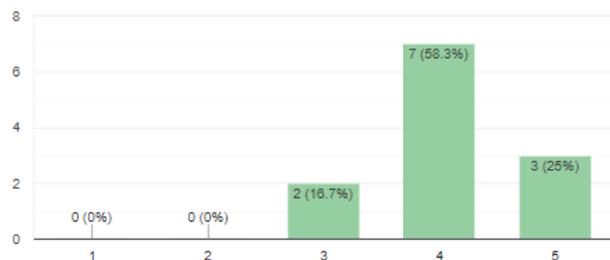
Ⅲ 教育活動

教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関として、修業年限等に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか



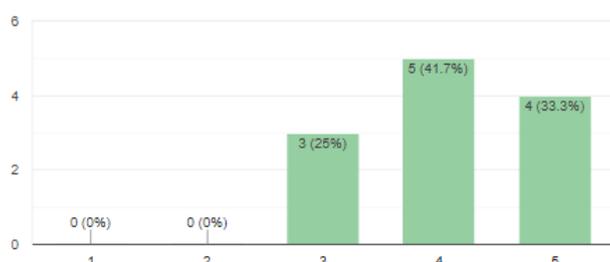
5	<ul style="list-style-type: none"> ・明確だと思います。 ・HP に掲載している
4	<ul style="list-style-type: none"> ・明確にされている ・修業年限の中で到達できる範囲の確保は十分に確保されている ・シラバスにて提示している ・学習時間の確保はされているが、学生の理解度を考えた場合国家試験受験学科であるため難しい部分もある。
3	

学園行事の適切な企画、円滑な運営がなされているか



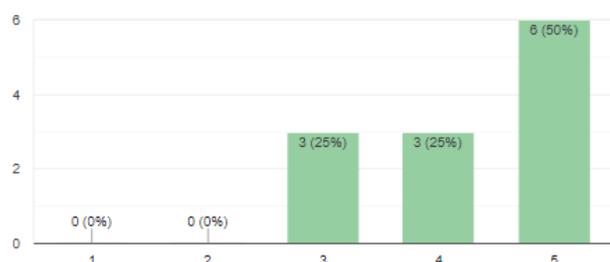
5	・担当者を決め連携を図って取り組んでいる
4	・職員・学生を交えて運営されている ・自身も力となっていきたいです。 ・昨年度はコロナ感染の影響を受けましたので、本年度は円滑にできると思います。 ・昨年度と同様にコロナの影響により、満足な活動が実施できなかった ・コロナ禍でも学生に向けた学園行事をできる範囲で運営していると感じた。
3	・社会情勢に合わせた行事活動を考え工夫し運営している。

授業規律を確保し、指導体制の立て直しが図られているか



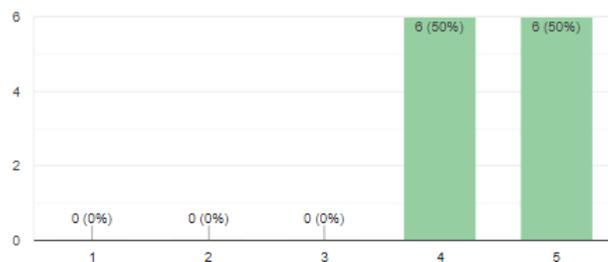
5	・規律意識が強く、学生の活力を高めきれていないようにも感じる。 ・学科ごとと教員間で協議しながら体制が整えられている
4	・学生の質も少しずつ年度ごとに変化しており、これからも立て直しが必要と思われます。 ・学科ごとと検討・修正している ・担当教員が異なるため、統一するのは難しいが努力はしている
3	

関連分野の企業、関連施設等、業界団体等の連携により、教育課程の作成、見直しが行われているか



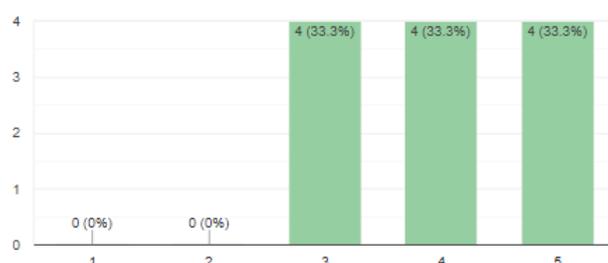
5	・周辺の施設や園からの協力を得つつ、教育の場を補償している ・各施設、診療所等との連携を図れるよう努力している。 ・教育課程編成委員会が設置され、年2回助言や意見をいただき反映させている ・講師打ち合わせ会や実習打ち合わせ会を毎年実施している
4	・実習先等との連携を円滑に行っている ・教育課程編成委員会などの開催により行われていると考える。
3	・多方面に渡り情報を得ながら、見直しを行っている

成績評価、単位認定の基準は明確になっているか



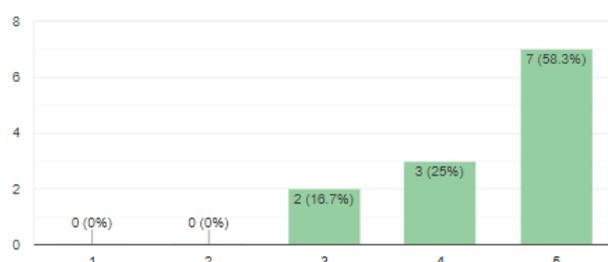
5	<ul style="list-style-type: none"> ・明確に行っている。 ・学則に基づきシラバスが作成され明確になっている ・基準を設け明確にしている
4	<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準に沿って実施している ・実習なども基準を設け明確にするようにしている。
3	

授業評価の実施、評価体制があるか



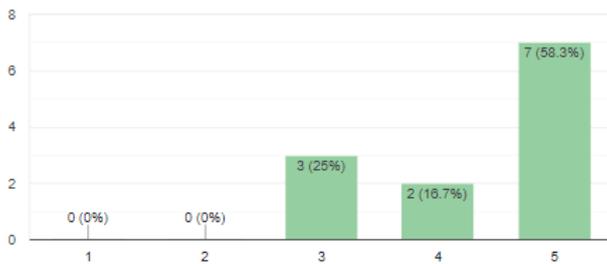
5	<ul style="list-style-type: none"> ・評価体制は明確になっている。 ・公開授業は昨年度と同様にコロナにより実施されていないが、学生アンケートを実施し授業評価を行っている
4	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価は行われている。改善に向けた場合はより一層充実させていく必要があるのではないか ・最近、実施はされていないが学内専任教員の授業評価実施
3	<ul style="list-style-type: none"> ・より一層の体制が必要

職員の能力開発のための研修が行われているか



5	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に研修が行われている ・外部との研修会をオンライン等で行っている。 ・年3回、教職員研修会を実施している ・学園独自の研修会や各専門職の研修会の参加など学習の機会を多く頂けている ・学内・学外で行われている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・学外の研修にも参加できる環境である ・教職員研修等大変勉強させていただいています。 ・研修会などの場は設けられている
3	

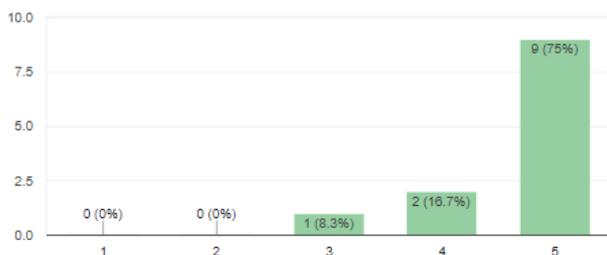
クラス担任と教科担任の連携を密にし、学生の実態にあった指導法の確率に努めているか



5	<ul style="list-style-type: none"> ・特に強化している ・常に話し合いをして指導の確立に努めている。 ・学生の授業中の状況や近況等、授業前後に情報共有し指導にいかしている ・学科で情報を共有し、指導に役立てている ・学科教員でのミーティングを行っている。
4	お互いに情報交換をして共有している
3	・まだまだ連携がとれていない部分がありますので、心がけていきたいです。

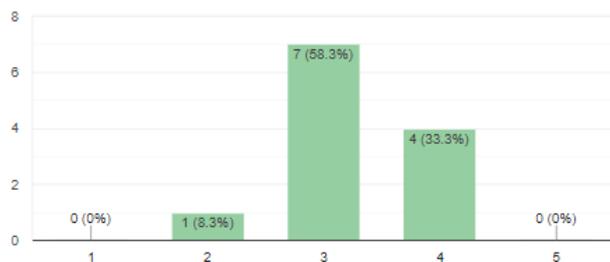
IV 学修成果

就職率の向上は図られているか



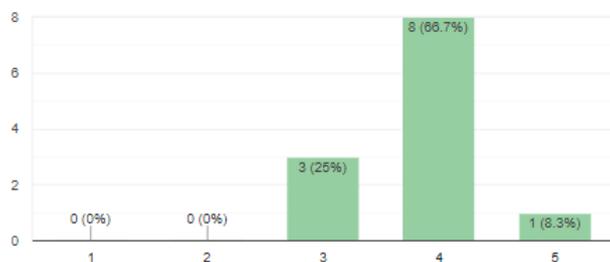
5	<ul style="list-style-type: none"> ・全員内定を継続している ・学生の個性を踏まえつつ教員の行える最善が尽くされていると感じる ・向上を心掛けている。 ・就職率 100%を維持している ・地域の企業、施設等と連携を図りながら就職支援をしている ・就職説明会の実施。100%の就職率。
4	・お互いに情報交換をして共有している
3	・まだまだ連携がとれていない部分がありますので、心がけていきたいです。

退学率の低減は図られているか



5	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・低減に向け対策を立て取り組み中 ・毎年、本人、および保護者対応を充実させ、軽減に務めている ・話し合いを行い、どのようにしたら学生が勉強と学校生活を続けていけるか考えるようにしている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・より一層の底辺策が必要 ・学生と信頼関係を築くことをより大切にしていきたいです。 ・学生の様子も多様化しており、より柔軟な対応が必要ではないか ・担任を中心に個人面談を実施し、退学とならない様に努めたが1年生2名の退学者を出してしまった ・普段から学生の変化に気付き対応するようにしている。保護者との連携をとっている。
2	努力しているが、低減が図れているとはいえない

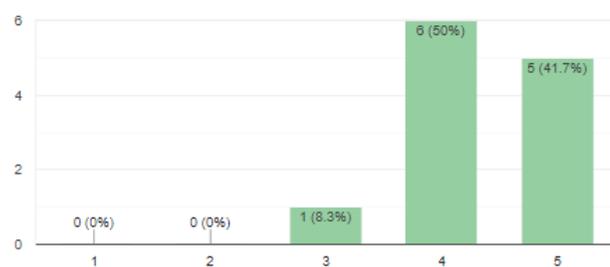
卒業生・在学生の社会的な活動及び評価を把握しているか



5	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の把握名できていない ・連絡網など卒業後も連絡が取れる体制を残している ・地域連携により情報を得られる環境である ・全員の把握は出来ていないので、把握できる体制となるように努力していきたいと思います。 ・卒業生に関しては把握しきれていない ・就職先が実習先であったり、衛生士会等を通して活動状況を把握している ・LINE などツールを使用したり情報交換ができるようにしている。
3	

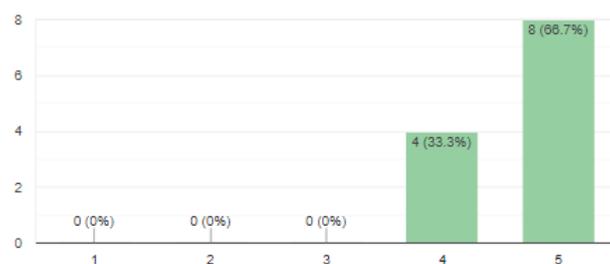
V 学生支援

学生相談に関する体制は整備されているか



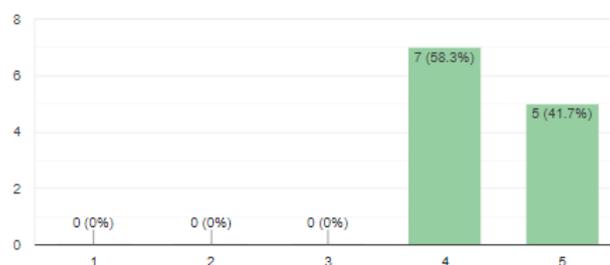
5	<ul style="list-style-type: none"> ・担任が中心となって行っている。 ・担任の定期的な個人面談の実施に加えて必要に応じて学科内誰にでも相談できる体制である ・担任だけでなく学科単位で行っている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・担任制をとり、担任を中心に行っている ・個人面談を充実を図っている ・学科内で連携をとり、学生の拠り所を作ることを心がけています。 ・担任以外の職員も学生の支援を実施している
3	<ul style="list-style-type: none"> ・学科全教員でサポートにあたってはいるが、十分な時間を確保できていないように感じる

学生の経済的側面に対する支援は整備されているか



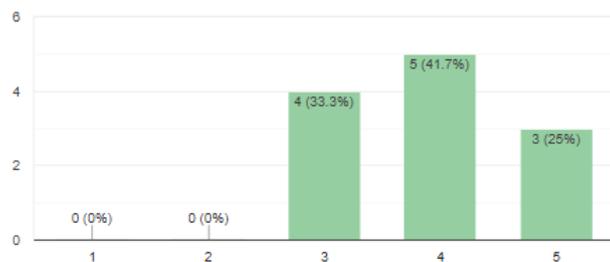
5	<ul style="list-style-type: none"> ・学校独自の奨学金制度が充実している ・整備されている。 ・学校独自の奨学金や修学支援、学費分納にも対応している ・学校独自の奨学金基金制度や修学支援新制度の整備など ・奨学金や学園制度を利用することができ充実している。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限りニーズに対応している ・充実は図られているものの、「0円進学」などが謳われる昨今では掬い上げきれていない部分があるようにも思える。
3	

保護者と適切に連携しているか



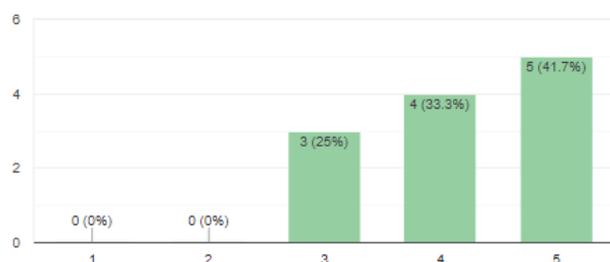
5	<ul style="list-style-type: none"> ・常に連携するようにしている。 ・担任を中心に、状況に応じて保護者に連絡を取り連携している ・連携している。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ連絡をとり連携を意識している ・状況に応じて保護者へ連絡を取りながら支援している
3	

卒業生への支援体制はあるか



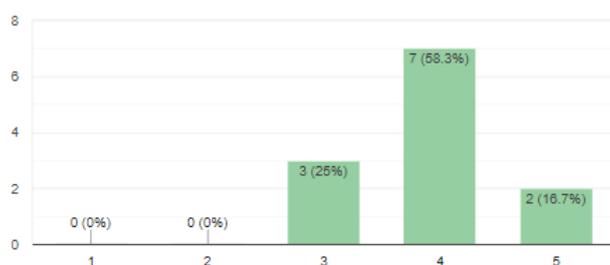
5	<ul style="list-style-type: none"> 卒業後も相談窓口となり再就職等の支援を実施している 在学中から支援体制を周知している。
4	<ul style="list-style-type: none"> 体制とまでは言い切れない 就職問題等などの対応に当たっている 「体制」としては不足を感じるが、個別の相談に応じる等の職員努力による対応により支援が行われている 支援できるようにと考えているが、全ての卒業生の支援とは言っていないと思う。
3	<ul style="list-style-type: none"> 体制的にはより検討が必要 相談があれば対応しているが窓口はない

LHRなどを効果的に活用し、職業観の育成に努めているか



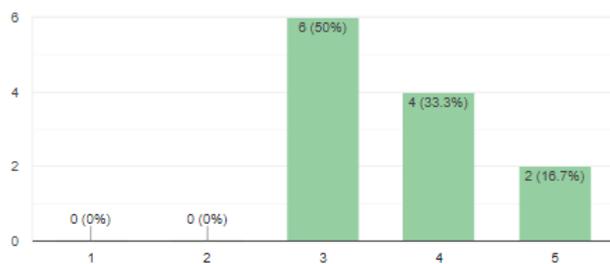
5	<ul style="list-style-type: none"> 活用して努めています。 HR以外にも、授業の中や進路指導時にも努めている
4	<ul style="list-style-type: none"> 独自の科目も設け職業観について伝えている 歯科衛生士会の学生会員であるため定期的な会報や研修会・行事への参加を促し実施している。
3	<ul style="list-style-type: none"> 設備が老朽化されているのが、少しずつ改善されている 教育用の機械や器具、設備は老朽化が進んでいる 演習用ではなく実際に利用する障害者トイレがない

社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか



5	
4	<ul style="list-style-type: none"> 必須資格以外にもニーズに適した資格取得を設けているより整えて参ります。 社会情勢に合わせた資格を考慮し設定されている。 これからは先に進んだものが必要となるので、環境整備に努めていきたいと思います。 器材等の老朽化を感じることもある。
3	<ul style="list-style-type: none"> 設備が老朽化されているのが、少しずつ改善されている 教育用の機械や器具、設備は老朽化が進んでいる 演習用ではなく実際に利用する障害者トイレがない

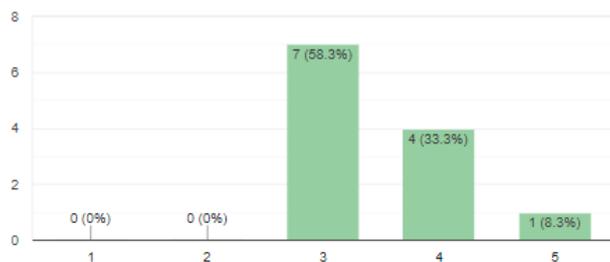
学生が自己理解、自己啓発、自己実現をするための方策が整備されているか



5	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の思いを受け止めて整備していきたいと思います。 ・クラス担任制で個々に合わせた対応をしている ・職業イメージを抱けるよう外部講師によるセミナーなどを実施しているが十分とは言えない ・学内授業・実習だけでなく臨床実習や歯科医院でのバイトなど自己研さんができるよう整えている。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・今後より一層の整備が必要 ・より学生の個性や魅力を活かす方策の整備が必要である

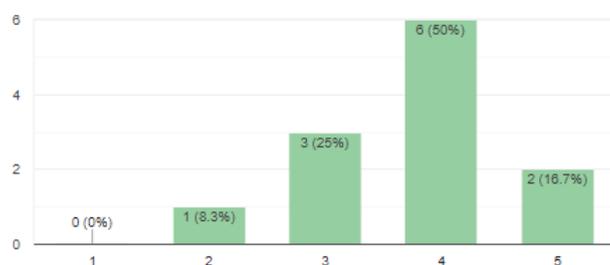
VI 教育環境

施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか



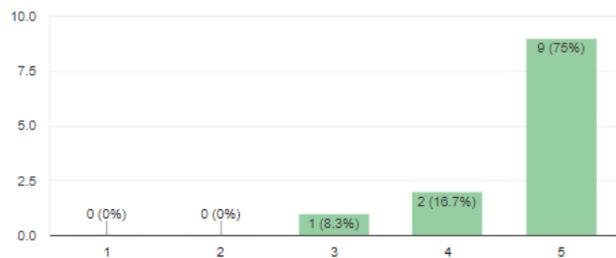
5	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・古いものも多く十分とは言えない ・新しい設備もこれからは必要となってくると思います。 ・整備されて部分と伴っていない部分に差がある。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・より一層の整備が必要 ・徐々に整備されている ・必要十分ではあるが、充実はしていないと感じる。 ・教育用の機械や器具、設備は老朽化が進んでいる 演習用ではなく実際に利用する障害者トイレがない ・基本的な技術を習得する設備は整っているが、現在の現場環境に即した設備が十分ではない

図書室利用の活性化が図られているか



5	<ul style="list-style-type: none"> ・特に3年生の国試対策に活用されている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・新書購入し活性化するよう対策中 ・実習・演習等で利用している ・学生の希望図書の調査を実施し、継続的に図書室を活用できるよう図書の入れ替えを検討している ・専門書を利用して調べ物をする授業等で図書室を活用する機会を設けている。また、個々でも利用に繋がるよう専門書以外の図書の導入など工夫を行っている。 ・学生が興味ある書籍の整えを開始する。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の充実が必要である ・活用されている図書は一部あるものの、「図書室」としての活用ではない部分が多いのではないかと

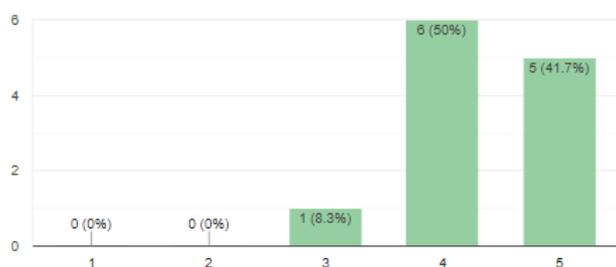
防災に対する体制は整備されているか



5	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な点検や訓練が行われている整備されている。 年 1~2 回避難訓練の実施、定期的に消防による点検を行っている 定期的な訓練の実施や点検を行っている 定期的な点検整備・訓練を行っている。
4	<ul style="list-style-type: none"> 毎年、訓練を行っている
3	

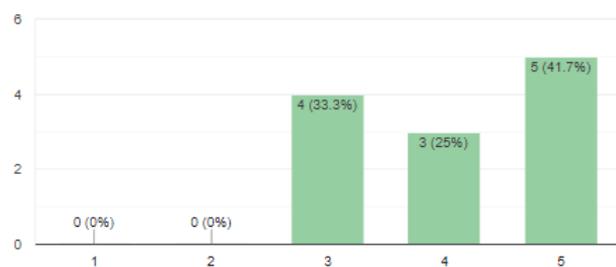
VII 学生募集

学生の募集は適切に行われているか



5	<ul style="list-style-type: none"> 適切と思います。 年間スケジュールを立て、適切に実施されている
4	<ul style="list-style-type: none"> 進学相談会への参加やオープンキャンパスの実施、高校への訪問などを取り組んでいる 入学人数と学生募集がマッチングしていない現状で模索している。
3	<ul style="list-style-type: none"> 進学相談会への参加やオープンキャンパスの実施、高校への訪問などを取り組んでいる

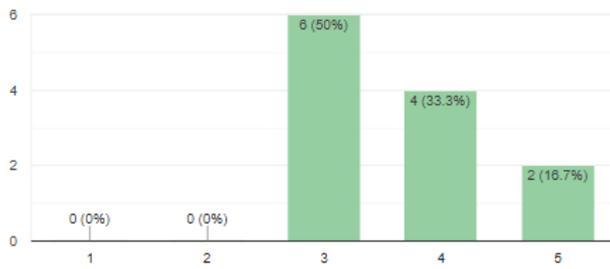
学生募集活動について、教育成果は正確に伝えられているか



5	<ul style="list-style-type: none"> きちんと伝えられていると思います。 パンフレットや HP、適宜リーフレットを作成し伝えている 国家試験の合格率、就職率等積極的に活用している
4	<ul style="list-style-type: none"> 伝えが足りていない状況と入学生人数を考えると感じるため見直しが必要である。
3	<ul style="list-style-type: none"> 地道な募集活動の継続が必要

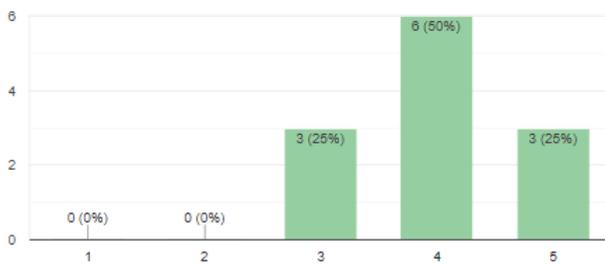
VIII 財務

中長期的に学校の財政基盤は安定していると言えるか



5	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の人数を確保していく必要があると思っています。 ・学生数が確保できていない
3	<ul style="list-style-type: none"> ・学生数が低迷しているため、安定しているとはいえない ・学生人数が増加していない以上安定とはいえない。

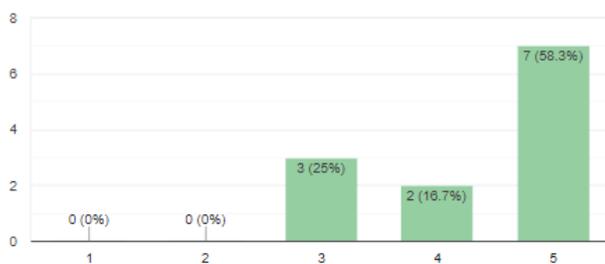
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか



5	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当と思います。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修で説明を受けている 物価の高騰により見直す必要があるものもある ・項目によるのではないかと感じる。
3	

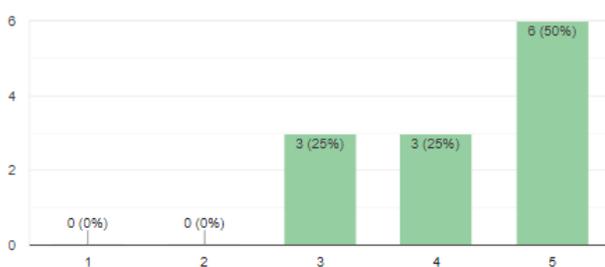
IX 法令等の遵守

法令、専門学校設置基準等の遵守と適切な運営がなされているか



5	<ul style="list-style-type: none"> ・適切と思います。 ・法令にもとづいた報告、指導調査の実施により適切に運営されている ・なされている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・養成校の学則等を遵守している
3	

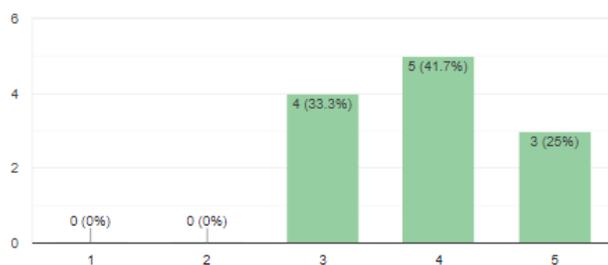
個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか



5	<ul style="list-style-type: none"> ・対策はきちんとなされていると思います。 ・HP やインスタ、SNS、学校広報等で使用する場合本人、保護者の許可を得て使用している。校長室や鍵のかかる部屋に保管している ・取扱いについては、注意を払い行っている。
4	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・より一層の対策の検討が必要 ・ICTにより変化する個人情報の取扱いについては、より教員研修が必要である

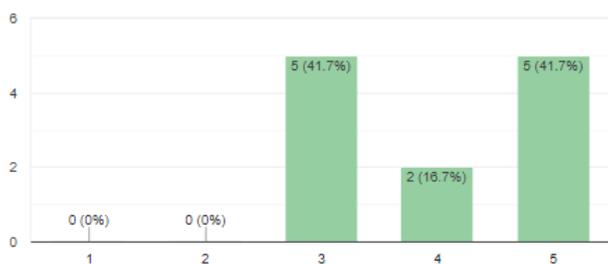
X 社会貢献等

学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか



5	<ul style="list-style-type: none"> ・一般に貸校舎として開放している
4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動には参加している ・もっと学校を知ってもらうために学校を利用したイベント等を行う必要があると思います。 ・関連団体等で貸校舎として利用いただいている ・コロナ禍で出来ていない。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため、足踏み状態 ・新型コロナウイルス感染症等から、まだ以前通りとはいえない状態だと考えます。 ・コロナにより行いづらい側面はあるが、地域への福祉面での還元が十分ではないと感じる

学生ボランティア活動を奨励・支援しているか



5	<ul style="list-style-type: none"> ・奨励・支援している。 ・ボランティアの依頼があった場合には学生へ公開している ・参加を促し支援している。
4	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため足踏み状態 ・依頼された活動には学生への周知を行っている ・コロナにより難しい状況が続いている ・昨年と同様でコロナの影響により依頼される件数が少ないが、依頼をいただいたものに関しては学内に掲示し呼びかけている

【総評】

概ね、職員の尽力の成果がアンケート結果として出ているのではないか。

その中でも、退学率については今後も検討していく必要があるが、様々な諸事情があるため保護者・本人・職員が一丸となって取り組む必要性がある。

委員の中から、職場の取組として「ブラザー制度」という、新入社員と年齢の近い職員を組ませ、悩みなどの相談をしやすい関係づくりを心掛けているとの話があり、学校に置き換え、学生同士の関わりが持てるより一層の環境作りも退学軽減に一役担うのではないかとの貴重な意見交換もあった。

また、課題であった図書室利用については、今年度より学生アンケート調査を行い、ニーズのある図書を数冊購入した。

次年度以降も、図書室利用を充実させるため、図書購入を継続していく。